



# 本気・根気・元気

令和6年11月13日発行【第7号】

発行者：佐賀市立昭栄中学校

校長 永田康子

学校教育目標：夢に向かって たくましく 挑戦する生徒の育成 - 自律・協働 -

生徒会スローガン：飛翔～impossible is nothing～

令和6年度文化発表会・合唱コンクールが10月25日（金）に行われました。今年度のスローガンは「Forever～永遠に残る最高の思い出を～」でした。文化発表会では吹奏楽部の軽快な演奏に始まり、1、2年生の学年劇、3年生の総合的な学習の時間に探求したSDGsについての発表と続きました。開会の挨拶で実行委員長の山下聖琉さんが「文化とは今まで築いてきた伝統のことで、英語ではcultureといいます。cultureはラテン語で『耕す』という意味をもっています。耕すという意味のものが『心を耕す』つまり心を育てるものへと変化し、現在の文化、文明という意味になりました。文化は一人では創り得ません。今まで一緒に準備し、思い出をつくってきた仲間や支えてくれた保護者や先生方に見せたいものが少なからずあると思います。」と述べたように昭栄中の文化にふさわしい魅力的な内容でした。また、合唱コンクールでは、各クラスのこれまでの練習の成果を発揮し、それぞれが金賞を目指して美しいハーモニーを響かせました。特に3年生の合唱は圧巻で4クラス共に心に響く素晴らしい合唱を披露しました。学校行事では、学級全体や学年全体を見ることが求められます。クラスや学年みんなで何かを創り上げるときには協力し合うことが必要で、自分がその中で何ができるか、どうすればよりよいものにできるのかを考えます。生徒たちはこのような経験を通して精神的にひとまわり成長していきます。文化発表会や合唱コンクールでの生徒たちの姿はそれまでの集大成でした。

充実した文化発表会・合唱コンクールが終わり、これから3年生はそれぞれの進路実現に向け、2年生は生徒会のバトンを引き継ぎ学校の中心的存在となって活躍し、1年生は2年生を支えながら4月には先輩となる意識を高めていくことになります。



美術部員作成

文化発表会・合唱コンクール看板

## 「頼り頼られる仲間づくり」No.5(11月の全校朝会の話より)

今日は、「強い仲間」「強い集団」について話します。漫画「ONE PIECE」の麦わらの一味を思い出してください。麦わらの一味は、どんな島に行っても冒険を楽しめて、強大な敵に立ち向かうこともできる強い一味です。なぜ、強いのでしょうか。(中略) 麦わらの一味が強いのは、違う個性が集まっているからです。仲間や集団に違う個性が集まっているということは、いくつもの強みを持った仲間や集団であるということです。(中略) 実は、「頼り頼られる強い仲間」のモデルは皆さんたちのすぐそばにあります。先生方です。各学年の先生方はそれぞれ得意なことが違います。もちろん価値観も違います。似ているところもあるかもしれませんが同じではありません。先生方は各教科教育のプロです。しかし、先生方の仕事はそれだけではないのでお互いに強みを交換し合いながら、たくさんある仕事や課題に取り組んでいってほしいです。なぜそれができるのでしょうか。皆さんたちが、夢に向かってたくましく挑戦する生徒になり、将来力強く生きていってほしいというのが先生方の共通の願いだからです。同じ目標に向かって、それぞれの強みを生かし合うから強い仲間、強い集団になっています。だから、皆さんにとって、強

い仲間や強い集団の身近なモデルはそれぞれの学年の先生方です。みなさんが今「頼り頼られる仲間」と認めているのが価値観の似ている人たちばかりになっているとしたら、もう一步踏み出してください。必ず自分の見える世界が広がっていきます。仲間と課題を解決することが楽しくなっていきます。そして、少しのことでは困らないようになっていきます。一人では無理なことでもそれぞれの違った強みがいい具合に化学反応を起こして突破できるものです。

信頼関係に基づいた人間関係についてぜひご家庭でも話題にしていただければと思います。

## 生徒会会長選挙

11月8日（金）令和7年生徒会会長選挙が行われました。6名の立候補者がそれぞれの公約とそれに対する具体的な取組について演説で説明しました。2年生はこれまで生徒会とは何か、生徒会長に求められる力とは何か、学校の課題は何かなどについて学年全体で考えてきました。6名の立候補者はこれまでとは違った視点で学校生活を振り返り、生徒会として学校をよりよくするには何が必要かに気付いたことと思います。選挙活動中に行われた、討論会や政策アンケートへの回答、そして選挙当日の演説を通してそれぞれが自分の公約とそれに対する具体的な方策を述べました。6名すべての立候補者の演説および応援演説は聞きごたえのあるものでした。選挙の結果、Fさんが次期生徒会長に選ばれました。これから生徒会本部、各委員会等長の組閣が進められますが、生徒会が本当の意味で主体的に活動できるものでなければなりません。生徒会が活性化して、その活動が充実すると、必ず昭栄中は今よりもっとよくなります。新たなリーダーとともに、生徒会活動を自分たちの力で活性化させ、生徒たちが輝く学校であってほしいと心から願っています。次回の学校だよりでは、Fさんに今後の見通しについてインタビューしたことを掲載する予定です。次期生徒会長のFさんが公約を実現しながら活気のある生徒会になることを大いに期待しています。尚、生徒会会長選挙に至るまでの活動の様子はHPの生徒会活動で発信しています。これからも随時発信していきますので是非ご覧ください。

## 昭栄中校区民生委員・児童委員の方々、ようこそ

11月7日（木）に昭栄中校区（嘉瀬小校区、新栄小校区、日新小校区）の民生委員・児童委員の方々に本校の生徒たちの学校生活の様子を参観していただきました。小学生の頃は身近な存在だった民生委員・児童委員の方々も中学生になると接する機会が少なくなります。しかし、これまでと変わらず地域の子どもたちが、元気で安心して生活していけるように見守っていただき、気にかけていただいています。生徒たちの学習に取り組む様子を見ていただき「全体的に真面目に学習に取り組んでいる」「いい学び方をしている。（受け身ではなく）自分たちが学習しているという様子が伝わってきた」「お互いに話したり教え合ったりしているので取りこぼしがいない」「教科書、タブレット、電子黒板など教材が充実している」などの感想をいただきました。また、SNSについては、使い方や時間などについて懸念されていました。生徒たちは中学生になっても地域の子どもたちです。生徒たちだけでなく、保護者の方にとっても何かあれば相談に乗ってくださる頼れる存在の民生委員・児童委員のみなさんです。各地区から配布されているお便りに民生委員・児童委員の方々が紹介されていますのでご確認ください。

## 公民(3年生)の授業が紹介されました(R6.11.4 発行 西日本新聞)

11月4日（月）の西日本新聞に3年生の公民の授業の様子が紹介されました。主権者教育の一環として、先日行われた衆議院選挙を題材にし、公約について自分なりの考えをもち、意見を交換したり話し合ったりしました。記事については本校HPに掲載しておりますのでご覧ください。